

基礎・材料フォーラム

「電力機器・設備において実用化されている絶縁材料と最新の診断技術」

概要：電力機器・設備の多くの絶縁材料は、天然絶縁材料から人工絶縁材料へと転換し、さらに高度にして多様化し、電力機器や設備ごとに変遷を遂げています。このような電気絶縁材料の変遷に伴い、現在使用されている主力の絶縁システムは複合的に機能性材料が重畳され、劣化に対して非常に堅牢なものとなっています。このような背景のもと、最新の实用絶縁材料の特性や劣化メカニズムを把握することは意義深く、対象となる電力機器・設備の絶縁診断技術の確立には必要不可欠です。また、近年、安価なセンサと通信インフラが整備され、IoT や AI に関する取り組みが積極的に行われ、劣化診断においても活用事例が報告されるようになってきています。

本フォーラムでは、最新の絶縁材料を使用している電力機器・設備に対して、材料の特性や劣化メカニズム、それらの絶縁劣化診断に関する技術や IoT や AI の活用に関する技術動向を紹介いたします。同技術に関心のある技術者、研究者、学生等の皆様を広く対象としており、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：2021年7月2日（金）13時00分～17時00分

会場：Zoomによるオンライン開催

注意事項：新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン参加のみといたします。

プログラム：

1. 13:00-13:05 開会、主催者挨拶 江原由泰（東京都市大学）
2. 13:05-13:40 ケーブル 蒲原弘昭（大電株）
3. 13:40-14:15 変圧器 吉田昌展（中部電力株）
4. 14:15-14:50 回転機 井上誠一（富士電機株）
14:50-15:00（休憩）
5. 15:00-15:35 ガス絶縁開閉装置 田村弘毅（東京電力ホールディングス株）
6. 15:35-16:10 遮断器・断路器 長広明（東芝インフラシステムズ株）
7. 16:10-16:45 トラブル事例 江藤計介（出光興産株）
8. 16:45-17:00 絶縁診断における IoT・AI 活用事例 栗原隆史（(一財)電力中央研究所）
司会進行：栗原隆史（(一財)電力中央研究所）

テキスト：電気学会技術報告 第1504号「電力機器・設備において実用化されている絶縁材料と最新の診断技術」をテキストとして使用いたします。希望者は、電気学会電子図書館から各自で購入してください。

電気学会電子図書館：<https://www.bookpark.ne.jp/ieej/>

（価格：書籍版：会員 ¥3,141-、非会員 ¥4,488- PDF版：会員 ¥4,712- 非会員 ¥6,732- いずれも税込）。

参加費：一般 会員¥3,000- (消費税込) 非会員¥5,000- (消費税込)

学生 会員¥1,000- (消費税込) 非会員¥2,000- (消費税込)

申込方法：ホームページからのお申込みください。(締切6月26日) :<https://www.iee.jp/blog/forum/>

定員 250 名に達し次第，参加の受付を締め切らせていただきます。なお，定員を超えた場合には，会員を優先しますので，ご了承ください。(非会員の方は，是非この機会に電気学会へのご入会をご検討下さい。)

参加費払込方法：Web からのクレジットカードのみのお支払いとなります。決済後は Web サイトにて領収書が発行されます。

問合せ先：一般財団法人電力中央研究所 栗原 隆史 E-mail: ktakashi(at)criepi.denken.or.jp

【注(at)を@に置き換えて送信してください。】

主 催：電気学会基礎・材料・共通部門 誘電・絶縁材料技術委員会 (委員長 高橋俊裕)